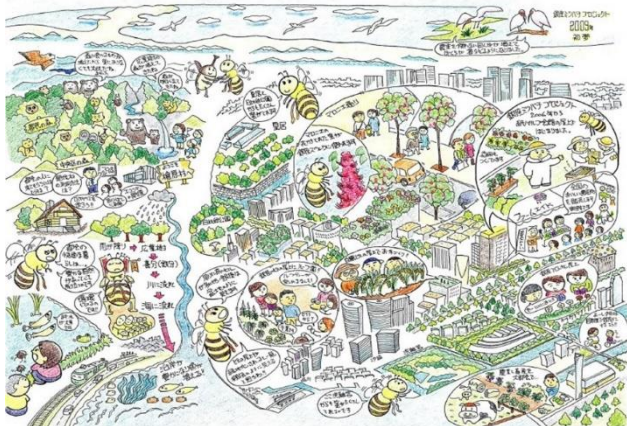


銀座里山計画

都会と緑が一体となった街を目指しています
桜が咲くと、ミツバチの交配でサクランボが実り、
野鳥がやってきてつばみます

- ・銀座で働く人たちは、里山のような人間関係が形成されています
- ・去年は、2tのハチミツが収穫されています



「皆様、銀座にいらしてください」



米山記念奨学生レポート

■グエン ティ ガン

テーマ：これまでの奨学生の生活で得たものや、日本留学の成果などについて

2021年4月から米山奨学生になり、もう1年間を過ごしました。米山奨学生になってよかったことは2つあります。

1つ目は、経済的な悩みがなくなり、新しいことを全力的に挑戦できたことです。私も多くの留学生と同じで、日本での生活費と学費はアルバイト代でまかないました。日々忙しく、勉強する時間や新しいことをチャレンジできる時間がなかったです。しかし、奨学金を受給し、アルバイトの時間を減らす代わりに、色々な人々と交流したり、ボランティア活動に参加したりできました。それで、自分の知らない自分がどんどん発見でき、充実した毎日を送っています。

2つ目は、ロータリー独自の世話クラブとカウンセラー制度を通じて、日本での留学生生活を豊かになったことです。世話クラブではロータリアンと接することによって、日本文化や日本社会への理解をより深めるとともに、自分の日本語でのコミュニケーション能力もレベルアップできました。また、カウンセラーさんは母のように、生活面でも、学業においても、面倒を見てくださいました。それのおかげで、心が温かくなり、安心し、楽しく日本での生活を過ごせました。

米山奨学生になったのは本当によかったです。心から感謝の気持ちを込め、今後も日々努力していきたいと思えます。